

介護予防の推進役

3級ホームヘルパー誕生

●地域の福祉ボランティアや介護予防の担い手を養成することを目的とした「石岡市いきいき3級ヘルパー養成研修」を開催。今年度、40名の3級ホームヘルパーが誕生しました。

高齢者介護に役立つ、3級

ホームヘルパーの資格取得に向け、7月2日から8月26日の間の11日間（延べ60時間）をかけて40名が受講しました。受講生は、中学生27名、60歳以上の一般の方13名。7月の土日と夏休みを利用し熱心に取り組み、閉講式には、全員が修了証書を手にする事ができました。

「いきいき3級ヘルパー養成研修」は、今年度行政から社会福祉協議会に委託された初めての事業。市内の中学校に協力をいただき、希望者を募ったところすぐに定員を超え、抽選で受講者を決定するほどの盛況ぶり。

応募の動機は、「将来、介護士になりたい」「資格をとっておけば将来役立つかもしれない」「家族の介護のため」等、時代を担う中学生からしっかりと考えた考えが寄せられました。一方、一般の受講生は、「年老いた親の介護」など。

石岡中2年の村田純平君は祖母の絹江さんと応募。一緒に机で学びました。中学生と60歳以上の方が一緒に机に並んで学んでいる姿は、なんともほほえ



とろみ材を使った勉強です



10代と70代は同級生



おむつのあてかたとあててもらう方の気持ちを理解

ましく世代間の交流も深まりました。石岡市では、65歳以上の高齢者人口が、数年後4人に1人となると予想され、益々介護の知識が必要とされます。今後、少しでも多くの方々に介護の知識を身に付けていただき、温かな地域福祉を目指します。



片マヒの着替えはムズカシイ